

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2775 号

Endoscopic diagnosis strategy of raspberry-shaped gastric lesion in *Helicobacter pylori*-uninfected patient

*Helicobacter pylori* 未感染胃粘膜を背景としたラズベリー様外観を呈する胃病変の内視鏡的鑑別方法について

鈴木 信之 (すずき のぶゆき)

博士 (医学)

#### 論文内容の要旨

*Helicobacter pylori* (*H. pylori*) 未感染胃粘膜に発生する発赤調、隆起型のラズベリー様の外観を呈する腺窩上皮型腺癌は、その特徴的な所見から「ラズベリー様腺窩上皮型腺癌」という名称で知られている。その一方で、*H. pylori* 未感染胃粘膜に発生するラズベリー様の外観を呈する他の胃病変の存在が報告されているが、それらの正確な内視鏡的鑑別は困難で、日常診療における問題点となっている。今回、我々はラズベリー様の外観を呈する胃病変を RSGL (raspberry shaped gastric lesion) と定義し、RSGL の新たな病理組織学的分類の作成と、内視鏡的・臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的とした。当院の内視鏡データベースより、2009 年 5 月～2021 年 8 月の期間で RSGL を抽出し、すべての RSGL を病理組織学的に分類し、その内視鏡的・臨床病理学的特徴について解析を行った。抽出された RSGL は 54 症例 65 病変で、腺窩上皮型腺癌 (43 病変)、胃底腺型腺癌 (2 病変)、胃底腺粘膜型腺癌 (4 病変)、過形成性ポリープ (12 病変)、PPI 関連胃底腺ポリープ (4 病変) の 5 種類に病理組織学的に分類された。RSGL は全例、多角形・弧状の腺窩辺縁上皮で構成されていた。腺窩上皮型腺癌は均一な発赤を認め (95%)、irregular microvascular pattern を呈する (91%) 病変が多かった。胃底腺型腺癌は全例、不均一な発赤 (100%) と上皮下腫瘍様隆起 (100%) を認めた。胃底腺粘膜型腺癌は均一な発赤 (75%) と上皮下腫瘍様隆起を認め (50%)、irregular microvascular pattern を呈する (75%) 病変が多かった。過形成性ポリープ・PPI 関連胃底腺ポリープは均一な発赤で (93%)、腺窩辺縁上皮の形状は多角形/弧状に加え線状/点状の混在を認め (81%)、regular microvascular pattern (100%) である病変が多かった。RSGL の病理組織学的分類とその内視鏡的・臨床病理学的特徴が明らかになり、更にその内視鏡的特徴から我々は RSGL の鑑別診断アルゴリズムを作成しえた。この診断アルゴリズムは、RSGL の内視鏡的鑑別に有用であると考えられた。